

## IV-資金

205 以下の銀行振込入金の手続として適切なものはどれか。

- A : 取引銀行の口座への振込情報を入手する  
B : 入金事実を確認後に仮勘定への計上を行う  
C : 入金内容を請求内容や債権残高など自社データと確認する
- a) A  
b) B  
c) C  
d) A、B、Cの全て

206 仕入先に対する支払を誤るリスクに対するコントロールとして、最も適切でないものは次のうちどれか。

- a) 現金出納帳と支払依頼書を突合し、支払金額が正しいことを確認する  
b) 支払依頼書と請求書・契約書等を突合し、支払金額が正しいことを確認する  
c) 支払依頼書と振込依頼書を突合し、支払金額が正しいことを確認する  
d) 期日別債務残高表を出かし、支払日が遅延していないことを確認する

207 支払精査について述べた文章の（ ）内に入る語句の組み合わせとして、最も適切なものはどれか。

「支払精査とは支払を行うに際して、（ A ）、入荷事実を示す証憑書類、請求書等と（ B ）内容の検証・チェックを行う手続をいい、実体のない支払が行われてしまったり、支払うべき金額の誤り・漏れなどの発生を防止を目的とする。」

- a) A : 契約書 B : 支払依頼  
b) A : 見積書 B : 支払依頼  
c) A : 契約書 B : 残高  
d) A : 見積書 B : 残高

19 現金出納管理 19.1 銀行振込入金 正解 : d

銀行振込入金における主な手続は以下の通りである。

- (1) 取引銀行口座への振込  
ファームバンキング経由による情報や、銀行振込入金明細書を入手することにより、取引銀行口座への入金事実を確認する  
(2) 入金事実を踏まえ仮勘定計上を行う  
入金事実を確認後、仮勘定にて入金計上処理を行い、伝票計上を承認する  
(3) 入金内容を確認し、自社請求内容との確認を行う  
期日別債権残高、入金予定日、支払通知書、自社からの請求、銀行振込明細、各証憑書類等からの入金内容の確認を行い、関係部門に入金を通知する。  
したがって、正解は (d) となる。

19 現金出納管理 19.2 銀行振込支払 正解 : a

当初の契約書や仕入先より発行された請求書・振込依頼書と支払依頼書との間における金額の照合、あるいは支払期日別の債務残高表より支払期日を過ぎてしまっていないかなどといった手続は支払時の不備を回避するコントロールとなる。支払が実施された際に記帳される現金出納帳と支払前に発行される支払依頼書を突合しても、仕入先に対する支払を誤らないコントロールとはならない。

したがって、正解は (a) となる。

19 現金出納管理 19.2 銀行振込支払 正解 : a

支払精査とは支払を行うに際して、契約書内容や入荷事実を示す証憑書類、取引先からの請求書等と支払内容の検証・チェックを行うことで、実体のない支払が行われてしまったり、支払うべき金額の誤り・漏れなどが発生しないようにする手続となる。併せて、支払処理される勘定科目や消費税区分などのチェックも行われる。

したがって、正解は (a) となる。